
2025 年度地盤品質セミナー

－宅地盛土・擁壁に関わる諸問題と判定士の役割－ (ハイブリッド形式によるセミナー)

主催：一般社団法人 地盤品質判定士会
(共催・後援団体は予定)
共催：公益社団法人 土木学会 地盤工学委員会
後援：公益社団法人 地盤工学会
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会
一般社団法人 地盤保証検査協会
特定非営利活動法人 住宅地盤品質協会
一般社団法人 日本建築学会
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
公益社団法人 土木学会
一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会
公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
一般社団法人 全国住宅技術品質協会
株式会社 総合土木研究所
文化財石垣・石積擁壁補強技術協会
レジェンドパイプ工法協会
公益社団法人 全国宅地擁壁技術協会

< セミナー企画趣旨 >

令和 6 年能登半島地震によって、能登半島内のみならず北陸地方の広い範囲で宅地被害が発生しました。特に液状化被害では、石川県加賀地方の金沢市・内灘町・かほく市及び新潟県新潟市西区大野～寺尾～小針地区で側方流動が発生しました。さらに、富山県西部地域の氷見市・高岡市・射水市・富山市では、港湾部の大規模な埋立地（富山新港・伏木港等）が液状化しました。

一方で、宅地盛土の被害も非常に多く発生しました。震度 5 強を観測した金沢市東部に位置する田上新町では、住宅地の斜面が道路ごと崩壊し住宅 4 棟が全壊しました。金沢市吉原町の金沢北稜高等学校では、校舎の基礎杭が約 33m むき出しになり、その下部法面が大規模に滑動崩落しました。このほかにも大規模な滑動崩落は、北は輪島市稲舟町輪島高等学校稲舟校舎から南は加賀市片山津町、福井県あわら市下金屋（名泉郷ニュータウン）などでも見られました。

新潟県糸魚川市京ヶ峰地区では、1960 年代に盛土造成された住宅地において、複数の場所でコンクリートブロックの擁壁が崩れ、家屋が傾くなどの被害が出ました。

また、直近では 2025 年 9 月 30 日に東京都杉並区堀之内で築 50 年以上、高さ約 4m の擁壁が崩れ、その上の木造 2 階建て住宅が倒壊しました。

こうした宅地盛土災害への危機意識を全国的に高める契機となったのが、2021 年 7 月に発生した静岡県熱海市の土石流災害です。豪雨による大規模な盛土崩落により下流に住んでいた人の命を奪うという災害が発生しました。この災害を契機として、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（以下「盛土規制法」という）が 2022 年 5 月 27 日に公布され、2023 年 5 月 26 日より施行されました。現在、全国の地方公共団体では、宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域の指定や、規制区域内の既存盛土調査などの基礎調査が順次実施され、規制区域の指定が完了し、新設盛土の許可申請等の盛土規制法の運用も始まっています。

そこで今年度は、「宅地盛土・擁壁に関わる諸問題と判定士の役割」と題して、盛土地盤の被害事例と判定士会の活動報告、擁壁の変状問題と判定士会の関わりなど、最新の課題と動向について話題を提供します。本セミナーは、住宅地盤・基礎に関わる建築士や建築・土木系の技術者の方々のみにとどまらず不動産鑑定士、弁護士、保険関係の方々などの知見向上に繋げるとともに、地盤品質判定士の更なる活動を推進することを目的としております。

また、「宅地盛土・擁壁に関わる諸問題と判定士の役割」について Q&A のコーナーを設けていますので、是非「2025 年度地盤品質セミナー」へご参加ください。

< セミナープログラム >

本セミナーは、**対面と Web のハイブリッド形式**で行います。Web では Zoom ウェビナーによるセミナー配信ですので、勤務先もしくは自宅からの聴講となります。奮って御参加下さい。

Web 聴講者は、Zoom が利用できるインターネット環境と PC 等をご自分で準備して参加していただきます。

なお、本講演会は「**地盤品質判定士会相談員登録規程**」に定める**指定講習会**となります。相談員登録を更新していただく際に必要となる講習会受講実績としてカウントされますので、登録相談員の皆様もこの機会に是非ご受講ください。

G-CPD ポイント：5

日 時：令和 8 年 1 月 23 日（金）

会 場：地盤工学会地下講堂、〒112-0011 東京都文京区千石4 丁目38 番2 号
（アクセス：https://www.jiban.or.jp/?page_id=1683）

参 加 費：賛助会員7,700円 会員8,800円 非会員13,200円 共催・後援団体の会員 11,000 円
（消費税を含む）

配布資料：本セミナーのために講師の方が作成する説明資料を PDF で提供します。

定 員：対面：60 名、Web：200 名

内容・講師

内 容	時 間	講 師
1. 開会の挨拶	10:00～10:10	北詰昌樹 【一般社団法人地盤品質判定士会 理事長】
2. 宅地盛土地盤の変状および盛土規制法 (1) 話題提供： ・「盛土地盤の被害事例」 ・「判定士会の活動報告」 休憩（10 分） (2) キーノートレクチャー ・「盛土規制法の現状について」	10:10～10:40 10:40～11:10 11:10～11:20 11:20～12:10	佐藤 真吾 株式会社復建技術コンサルタント 【（一社）地盤品質判定士会 東北支部長】 門田 浩一 パシフィックコンサルタンツ株式会社 【（一社）地盤品質判定士会 審査部会長】 奥山 悠木 【国土交通省都市局都市安全課企画専門官】
昼休み（50 分）	12:10～13:00	
3. 擁壁の変状問題と判定士会の関わり (1) 話題提供： ・「擁壁の変状に関する相談事例」 ・「擁壁に対する訴訟事例」 休憩（10 分） (2) キーノートレクチャー： ・「市街地の既存擁壁における現状と課題」 休憩（10 分） ・「擁壁の設計施工の考え方」 休憩（10 分）	13:00～13:30 13:30～14:00 14:00～14:10 14:10～15:00 15:00～15:10 15:10～16:00 16:00～16:10	立花 秀夫 【（一社）地盤品質判定士会 神奈川支部長】 秋野 卓生 弁護士 【弁護士法人 匠総合法律事務所】 西村 真二 株式会社 UR リンケージ 【（一社）地盤品質判定士会 神奈川支部幹事】 橋本 隆雄 国土舘大学特任教授 【（一社）地盤品質判定士会技術委員会委員長】
4. Q&A コーナー メインテーマ：宅地盛土・擁壁に関わる諸問題と判定士の役割	16:10～16:50	司会進行 利藤 房男 応用地質株式会社 【（一社）地盤品質判定士会 幹事長】
5. 閉会の挨拶	16:50～17:00	渡部 要一 北海道大学教授 【公益社団法人 土木学会地盤工学会委員会委員長】

【注】講師、内容、講義時間等は、各種事情により変更させていただく場合があります。

講演会参加申込方法： 地盤品質判定士会ホームページ (<https://shop.hanteishi.org/workshop/>)
より必要事項を記載してください。

※申込必要事項：①氏名，②地盤品質判定士の方は資格番号，③勤務先，
同住所，同連絡先（個人の方は住所，連絡先），④メー
ルアドレス，⑤日中連絡が取れる連絡先（電話番号（携
帯可）），⑥所属団体名，⑦CPD の要否（地盤工学会員
の方は会員番号）

※問い合わせ先：地盤品質判定士会講習会係

E-mail：kosyukai@hanteishi.org

申込み締め切り日：令和 8 年 1 月 16 日(金) ※開催日の 1 週間前

参加費納付方法： 講演会参加申込メールを送信後，判定士会が指定する下記口座に参加費
を振込手数料参加者ご負担で令和 8 年 1 月 16 日（金）までに振込んでく
ださい。

※参加料受付は，銀行振込のみとしています。

また，振込み者欄には，区分コード (0123) とご氏名を記載願います (例：
0123 地盤太郎)。

領収証は銀行振込の記録をもって替えさせていただきます。

なお，参加費納付後の返金はできませんのでご容赦下さい。

銀行名	支店名	口	座
みずほ銀行	駒込支店	普通口座 3024190	一般社団法人 地盤品質判定士会

- その他留意事項：① 申込受付後，なるべく早い段階で受理メールを返信いたします。
- ② 開催日 3 日前 1/20(火)までに講演資料 (PDF) のダウンロード方法と
web 参加の場合の【Zoom 入室用の URL, ID, パスワード等】を，受
講申込書に記載いただいたメールアドレスにお知らせする予定ですの
で，参加前に Zoom が接続可能な環境をご準備ください。
- ③ 講演資料送信後に，セミナーを欠席された場合の参加費は返却いたし
ませんので，ご了承ください。

以上